平成28年度3学期　地域連携部マネジメント

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成
重点努力目標	（1）アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。
分掌重点目標	・将来への夢や目標を持ち、進路実現に向けて学習に取り組む生徒の育成

柱となる活動	3学期への提言	常時活動	1月	2月	3月	到達目標	評価基準（Check）	成果と課題 Do&Check	来年度への提言
みずから学ぶ活動	・2期末懇談で保護者へ状況報告 ・各休みに自主登校を促す ・3年は補充6回 ・借金帳消して、1月からリスタート	職場体験学習に向けて（1年）	「ふるさと先生」Q&Aを受けて、学年で課題を共有し、職業調べへつなげる。 学年会で「職業調べ」の運営について協議する。	・総合的な学習の時間を使って「職業調べ」の実施 ・「職場体験」について学年会で検討。 ・「職業調べ」後に進路志望調査の実施 ・受け入れ事業所の確定 ・3年生を送る会の企画・準備	・職場体験先の確定 ・3年生を送る会の実施	地域人材の発掘に努め、協力企業への協力を要請し、参加事業所の増加をはかり、地域の人材を活用できる。	地域人材、地域企業の協力を得ることができる。		
	職業調べ→2年時の職場体験に向けて	自学ノート、新研究ノートの提出　自学ノート展等を通した学習意欲の喚起							
	修学旅行実行委員会（岩美町のPR等の検討）	修学旅行に向けて（2年）	・4月の修学旅行に向けての企画・準備 ・実行委員会での協議 ・訪問先等の調整 ・小6・中2交流会の企画・準備	・澤田夫妻の生き方について学ぶ」学習との関連を図った講演会、現地学習会の企画・準備 ・小6・中2交流会の実施 ・3年生を送る会の企画・準備	・取スティノ学園等、修学旅行関係先との打ち合わせ ・学年集会での実行委員会による企画説明 ・3年生を送る会の実施				
みずから鍛える活動	・低い状況を保護者に知らせる ・学年通信等で具体的な対策事例等を紹介する	保護者・地域の方々の学校運営への参画意識の高揚と情報提供を通した保護者啓発 ・学校便り ・学年通信 ・各種広報 ①PTA関係行事（卓球大会等） ②若狭あいさつ見守り隊 ③若狭見守りDAY	①保護者・地域の方々の学校運営参画意識の高揚（学校関係者評価委員会の結果等の活用など）			・「PTA関係行事」「若狭校内見守り隊」「若狭あいさつ見守り隊」等、保護者・地域の方々を巻き込んだ活動が定着する。	・PTA関係行事（運動会、文化祭）への参加率が50%以上 ・若狭見守りDAY参加者数が平均10人以上 ・若狭あいさつ見守り隊の参加者数が平均5人以上		
	・学年通信等の連絡 ・学年委員長から呼びかけ ・百人一首大会は見守り隊割り当て		②若狭あいさつ見守り隊への協力要請（保護者主導で実施する体制継続）→参加数集約→振り返り						
	・メディアとの接触時間が多い場合、NOメディアに切り替えも検討 ・メディアとの付き合い方岩美		③若狭見守りDAYの持ち方検討（「秋季大会激励会」、いのちの出前授業等）→参加数集約→振り返り						
みんなと生きる活動	・行事の連続ごとに町区別生徒会で周知徹底。 ・役割があるときは、事前に決めておいて公民館に報告 ・災害時の地元の戦力としても、地域との交流を大切にさせる。	町区別生徒会を活用しての地域行事への積極的参加	各地区公民館館長・主事会との連携（公民館の行事とのすり合わせ等）			・地域の行事やボランティア活動への数値・生徒の参加率実績が昨年度を上回る。	・生徒質問紙調査項目「地域の行事や活動に積極的に参加している」の肯定的評価が80%以上達成		
	・大人から挨拶をすることで返ってくるので、しつこく続ける。	挨拶、時間の遵守等、基本的生活習慣の再設定	職員から生徒への挨拶の声掛けを積極的に行う（凡事徹底）			挨拶、時間を守る行動等、生活習慣が身についている。	質問紙「挨拶」「ルール・マナー・モラル」「時間を守る」の各項目平均8割以上		